

第1学年 生活科 学習指導案

令和6年11月14日（木）第5校時

1年1組 31名

授業者 第1学年担任

校内研究のテーマ

自ら課題を見付け、見通しをもって活動する児童の育成

1 単元名

「みんなであきをたのしもう」（10月～11月）

2 単元の目標

秋の自然を諸感覚を使って観察したり、自然物を使って遊んだりする活動を通して、秋の特徴や他の季節との違いを見付け、それらで遊ぶ方法を考えたり、遊びを楽しく工夫したりつくり出したりすることができ、自然や生活の様子の変化、自然のおもしろさや不思議さに気付くことができるようにする。

3 単元の評価規準

	①知識及び技能	②思考力・判断力・表現力等	③主体的に学習に取り組む態度
評価規準に盛り込むべき事項	内容（5）「季節の変化と生活」		
	自然の様子や四季の変化、季節によって生活の様子が変わること気付くことができる。	身近な自然を観察することを通して、それらの違いや特徴を見付けている。	身近な自然を取り入れ、自分の生活を楽しくしようとしている。
	内容（6）「自然や物を使った遊び」		
	身近な自然を利用して遊ぶ活動を通して、その面白さや自然の不思議さに気付く。	遊びや遊びに使う物を工夫してつくっている。	みんなと楽しみながら遊びを創り出そうとしている。
単元の評価規準	自然の様子や季節の変化、季節によって生活の様子が変わること、自然遊びの面白さに気付いている。	秋の特徴や他の季節との違いや特徴を見つけ、遊びや遊びに使う物を工夫してつくろうとしている。	季節を生活に取り入れ、みんなと遊びをつくり出そうとしている。
学習活動における評価規準	ア 秋の自然の様子や特徴、夏から秋への移り変わりに気付いている。 イ 秋の自然はいろいろな遊びに利用できることや、遊びを工夫したり遊びをつくり出したりすることの面白さに気付いている。 ウ 招待したい人に応じた伝え方や適切な関わり方があることに気付いている。 エ 自分たちが秋を楽しむことができたことや、みんなを楽しませることができたことがわかり、友達や自分自身の成長に気付いている。	ア 身近な自然の違いや特徴を見付け、それを使って遊んだり、遊びに使うものを工夫してつくったりしている。 イ 秋の楽しさを伝え、楽しんでもらうために、計画を立てたり練習したりしている。 ウ 招待した人を楽しんでもらえるように関わったり、楽しんでもらう方法を考えたりしている。 エ 秋と自分たちの生活との関わりや、「あきのたからものランド」での出来事を振り返り、友達と伝え合っている。	ア 身近な自然を取り入れ、みんなと楽しみながら遊びをつくり出そうするとともに、生活を楽しくしようとしている。 イ 招待する人の反応や状況に合わせて、多様な方法で伝えたいことや気持ちを表そうとし、すすんで触れ合い交流しようとしている。 ウ 自分たちの生活が、身近な自然や季節の変化に関わっていることや、みんなで遊ぶ楽しさを実感し、毎日の生活を豊かに楽しくしようとしている。

4 単元について

具 体 的 な 視 点	オ 生産と消費 カ 情報と交流 キ 身近な自然との触れ合い ク 時間と季節 ケ 遊びの工夫	主 な 学 習 対 象	③ 友達 ⑦ 地域で生活したり働いたりしている人 ⑪ 身近な自然 ⑫ 身近にあるもの ⑭ 植物
中 心 と な る 内 容	内容（５）「季節の変化と生活」 身近な自然を観察する中で、違いや特徴を見付けることができ、自然の様子や四季の変化、季節によって生活の様子が変わること気付くとともに、生き物への親しみをもち、それらを取り入れ自分の生活を楽しくしようとするすることができる。 内容（６）「自然や物を使った遊び」 身近な自然を利用して遊びや遊びに使う物を工夫してつくることができ、その面白さや自然の不思議さに気付くとともに、みんなと楽しみながら遊びをつくり出そうとすることができる。		

本単元は、秋の自然を諸感覚を使って観察したり、自然物を使って遊んだりする活動を通して、自然や生活の様子の変化、自然のおもしろさや不思議さに気付き、季節の遊びや生活を楽しくつくり出すことができるようにすることを目指している。

さらに、自分の活動を発展させていく中で、豊かな秋の良さや新しい気付きを身近な人に伝えたいという思いを育むために、相手を意識した活動を設定していく。このことによって、相手に合わせて適切に関わり、自分自身の言葉や振る舞いを見つめ直して活動する実践的な力も育てたい。

5 研究主題に迫るための手だて

視点① 児童が自ら課題を見付けることができる単元計画

- ・学校内の散策や、地域の自然公園でのどんぐり拾いなど、様々な秋と出会う時間を確保した。
- ・自分で秋の自然物を集めたり、それを使っておもちゃを作ったりする中で、誰でも取り入れることができそうな工夫を意図的に共有し、新たな課題発見ができるようにした。
- ・振り返りワークシートを活用し、児童がいつでも見返し、課題発見につなげることができるようにした。

視点② 児童が見通しをもって学習に取り組むための手立て

- ・児童の思いや願いを大切にしながら単元の目標の実現を図るために、児童とともに話し合い、単元のまとめの活動を明確にする。その上で、単元計画を児童と設定し、学習の見通しをもつことができるようにした。
- ・秋遊びやどんぐりなどの、秋にまつわる本棚を設置し、いつでも読むことができるようにすることで、見通しをもって取り組むことができるようにした。
- ・目指す児童像に合ったつぶやきや気付きを記録して、教室に掲示し視覚的に捉えやすくした。それをいつでも見返すことができるようにすることで、その時には気付かなかった友達のつぶやきを見て、新たな発見や次時への活動の見通しをもてるようにした。
- ・ゴールを児童と一緒に設定し、児童とともに計画立てをすることで、全体の見通しがもてるようにした。
- ・活動の様子を写真に撮り、どんな工夫をしているのか気付かせ、自分の活動に取り入れることができるようにした。

6 1年生の単元の活動計画（全14時間）

児童の実態	・1年生の生活科の学習で朝顔を育て、観察する活動を通して、植物の成長に関心を持ち、身近な植物の変化に気付くようになってきている。 ・観察活動では、成長の様子をタブレット端末で撮影したり、気付いたことを観察カードに書いたりしてきたが、それらの学習の中では、発見した気付きや楽しさを友達と共有し、自分の学習に取り入れるまでには十分に至っていない。 ・自分で課題を設定し、学習を進めていくことができる児童が一定数いる中で、適切な課題が分からず、主体的に学習に取り組めない児童もいる。	・「きせつとなかよし なつ」での水遊びの学習を思い出し、秋にはどんな特徴があるのか、どんな自然があるのか考える意欲を高める。 ・児童のつぶやきや気付きを模造紙にまとめて、全員で把握し、見返すことができるようにする。 ・1時間のまとめや振り返りの時間の際に、次の時間にやりたいことをみんなで確認し、主体的に学習に取り組む姿勢と意欲を高める。	きつかけの工夫
単元に向かう思いや願い		●集めた実や葉についてもっと知りたいな。 ●集めた実や葉を工夫しながら使って、みんなと楽しく遊びたいな。 ●自分で作ったおもちゃで楽しく遊んでほしいな。	



小単元名（時数）	○主な学習活動	●予想される思考や気付き ◇次の小単元につながる思考や気付き
あきを見つけにいこう （4）	○秋となかよくなるための方法を考える。 ○みんなでしてみたい秋の活動を話し合い、活動への見通しを立てる。 ○秋の野原や公園に行く計画を立てる。 ○野原や公園に出かけ秋の草花や樹木などを観察し、季節の変化に気付く。 ○見つけた秋のことなどを、絵や文で表現する。	●きれいな葉っぱやどんぐりを見つけたよ。 ●調べたらどんぐりの名前がわかったよ。 ☆どんぐりは丸くて転がるから、もっと転がしてみたい。 ☆どんぐりで何かを作ってみたい。 評価規準 ①ア・②ア・③ア
見つけたあきであそぼう！つくろう！ （7） 本時	○集めた木の実や葉で、どんなことをしてみたいか考える。 ○集めた木の実や葉の特性を生かして、簡単な遊びを楽しむ。 ○素材遊びをした感想や気付いたことを伝え合う。 ○自分が作りたいおもちゃを工夫して作ったり改良したりしながら遊ぶ。 ○作ったもので友達と一緒に遊んだり、遊び方を工夫して楽しんだりする。 ○「あきあそびランド」の計画を立てる。 ○「あきあそびランド」へ招待するために必要なものを作ったり準備したりする。 ○遊び方やルールをグループで話し合ったり、試しに遊んでみたりして工夫する。	●どんぐりがコマみたいに回っておもしろいな。 ●〇〇さんが葉っぱをお面にしておもしろかった。 ●始めは簡単すぎたけど、ルールを変えたらおもしろくなったよ。 ☆もっと遊びたい。他の人にも遊んでもらいたい。 評価規準 ①イ・②ア・イ・ウ・③ア
みんなであきをたのしもう！ （2）	○園児を出迎え、挨拶をしたり、コーナーやルールなどについて説明をしたりする。 ○「あきあそびランド」を園児と一緒に楽しむ。	●「こうやって遊ぶんだよ。」 ●「〇〇コーナーは楽しいですよ。」 ●遊び方をわかりやすく説明しよう。 ●がんばって準備をしてよかった。 ☆幼稚園の友達と楽しく遊べたことを伝えたい。 評価規準 ①ウ・②ウ・③イ
なにをかんじたかな （1）	○活動を振り返って、感じたことや考えたことをカードにまとめ、友達と伝え合う。 ○友達と伝え合いをして感じたことや気付いたことを発表する。	●秋の宝物をいっぱい見つけることができてうれしかったよ。 ●〇〇さんのアイデアがとてもよかったな。 評価規準 ①エ・②エ・③ウ



単元の終わりまでに育ってほしい姿 自然物を観察したり遊んだりする活動を通して、秋の特徴を見つけ、それらで遊ぶ方法を考えたり、遊びを楽しく工夫したりすることができ、季節の遊びや生活を楽しく創り出すことができるようにする。

7 本時の活動計画（11／14）

（1）本時の目標

- ・招待した人に楽しんでもらえるように関わったり、楽しんでもらう方法を考えたりしている。
【思考・判断・表現】

（2）本時の展開

○児童の主な学習活動 分 ・予想される児童の思いや考え	* 教師の支援 ☆評価規準（対象）【観点】
○前時の活動を振り返って、本時のめあてを確認するとともに、活動の見通しを立てる。5 ・小さい子でも遊べるように、ルールを少し変えてみたよ。 ・分かりやすいように、見本を作ってみたよ。 ・みんなで「あきあそびランド」の練習がしたいな。	* 前時のまとめや振り返りの中で、本時の見通しを立てさせる。 * 前時の振り返りの際に、つぶやきを記録した模造紙などを活用しながら、本時の学習で何を行いたい見通しを立てさせる。
「あきあそびランド」において、れんしゅうをしよう。	
○半分に分かれて、みんなが作ったおもちゃで実際に遊んで練習をする。（前半）10 ・園児に話しかけるときは少ししゃがんだほうがいいのか。 ・遊び方を最初にしっかり説明しよう。 ○遊んで気付いたことを発表する。5 ・○○グループのおもちゃがおもしろいな。 ・ゲームが少し難しかったな。 ○半分に分かれて、みんなが作ったおもちゃで実際に遊んで練習をする。（後半）10 ○遊んで気付いたことを発表する。5	* 教師は机間指導を通して、児童に必要な声掛けをする。 * 児童には、遊んでいるときに気付いたことはあるか、思ったことはあるのか問いかけ、後半での活動に生かせるようにする。
○ふりかえりカードを書き、発表する。10 ・最初にお手本を見せてあげたほうが分かりやすいと思ったよ。 ・説明するときはゆっくり話すことを工夫したよ。 ・○○さんが「おもしろい」って言ってくれたからうれしかったです。 ・園児のお友達にも楽しんでもらいたいな。 ・早く見てほしいし、遊んでほしいな。	* まとめをする際には、それぞれの活動で気付いたことや、工夫したことを聞き、友達の見解に共感することによって、次時の見通しをもつことへつなげる。 * 振り返りには、本時で気付いたことなどだけではなく、次時に生かしたいことや、やってみたいことも考えるように声を掛ける。 ☆【②ーウ】

8 協議報告

○講師講評

北区教育委員会 教育総合相談センター 適応指導室 教育指導員 野尻 史子先生

子供たちが自分のやるべきことをわかっている授業のスタートであった。日頃からの投げかけ、積み重ねがある学級であると感じた。

生活科内容（５）「季節の変化と生活」（６）「自然やものを使った遊び」を一緒にした単元。内容（５）は秋らしいものの自然や様子を捉え、秋らしい遊びを行う。

1 季節感について

秋といえばという季節感を出すのは日常生活からは難しい。日頃から季節感を感じられるよう、子供らしい心を育てる。探検することで秋らしさに気が付く。前の季節と比べて書く。絵の不得意で評価を決めるのではなく、その子が何に気が付いたのか評価する。学習の記録を生活科では大切にす。教室内や廊下に掲示する。

2 おもちゃ作りについて

遊びや遊びに使うものを工夫する。自然の面白さや工夫に気付かせる。みんなで作ると楽しい。

「一緒に作りたい。」という思いを育てる。そのために①話合いで遊び方を整理する。②遊び方を考えるコツを見付ける。③遊ぶ対象に合わせてルールを工夫する。

成功した喜びを生活科で味わせる。

9 成果と課題

<成果>

- ・これまでの学習を掲示することで、児童の意欲を継続させることができたり、振り返る際に活用したりすることができた。
- ・校庭で秋探しをするだけでなく、校外でもどんぐりや落ち葉拾いをしたことで、より「秋」に対する思いが高まり、積極的に活動に取り組むことができた。
- ・自分がやりたい、作りたい遊びを選択したことで、意欲的に活動できた。
- ・単元の最後に、保育園や幼稚園の園児を迎え、遊んでもらう活動を取り入れたことで、自分たちだけが楽しむのではなく、「他の人を楽しませる」という視点をもち、準備する姿がみられた。そして、終わった後には、喜んでもらえたという大きな達成感を味わうことができた。

<課題>

- ・教室に学習の足跡を掲示する際、もっとダイナミックに行ってもよかった。例えば、スズランテープにどんぐりや葉っぱをつけて暖簾にする等、遊ぶだけではなく、環境構成も大切にする。また、工作を全員で行い、それを掲示するとよかった。
- ・なんでも遊びにするのではなく、遊ぶ相手が楽しめるふさわしい遊びの精選が必要。遊びの分類を行う（投げる、転がす、はじく、回す等）ことで遊びが精選しやすくなる。ゲーム性のある遊びに限定するとよかった。